

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【公表番号】特表 2004-525899 (P2004-525899A)

【公表日】平成 16 年 8 月 26 日 (2004.8.26)

【年通号数】公開・登録公報 2004-033

【出願番号】特願 2002-565579 (P2002-565579)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/436

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

C 0 7 D 498/18

【F I】

A 6 1 K 31/436

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

C 0 7 D 498/18

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 10 月 3 日 (2003.10.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

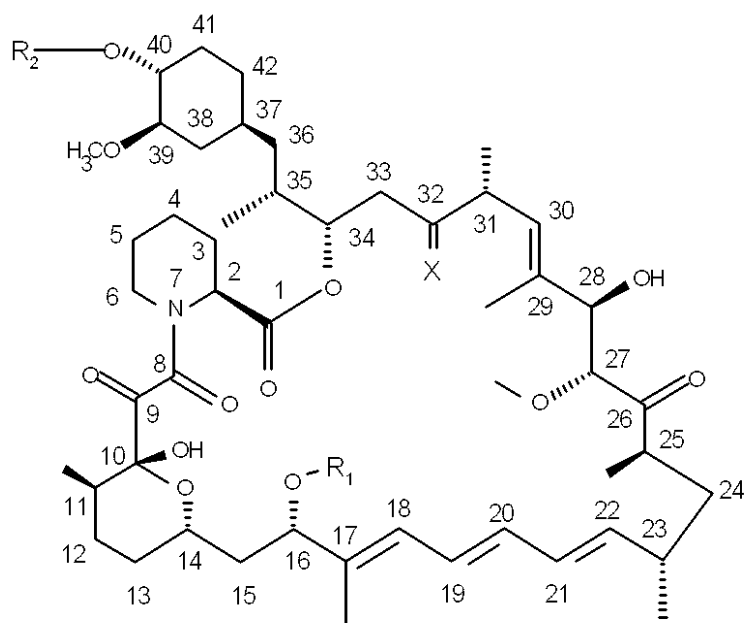
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 またはそれ以上の薬学的に許容される希釈剤またはその担体とともに、式 I

【化 1】



〔式中、

R_1 は CH_3 または $C_3 - 6$ アルキニルであり、

R_2 は H または $-CH_2 - CH_2 - OH$ であり、そして

X は = O、(H, H) または (H, OH) であり、
ただし、X が = O であり、かつ、 R_1 は CH_3 である場合、 R_2 は H 以外である。]
の化合物を含む、固形腫瘍処置をするための医薬組成物。

【請求項 2】

式 I の化合物を含む、固形腫瘍侵襲またはそのような腫瘍増殖に伴う症候を処置するための、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

ラパマイシンまたはラパマイシン誘導体を含む、脱調節性血管新生を阻害または制御するための、医薬組成物。

【請求項 4】

a) 請求項 1 において定義された式 I の化合物および b) 化学療法剤であるコエージェントを含んでなる組合せ医薬。

【請求項 5】

コエージェントが、

- i. アロマターゼインヒビター、
- ii. 抗エストロゲン、抗アンドロゲンまたはゴナドレリンアゴニスト、
- iii. トポイソメラーゼ II インヒビターまたはトポイソメラーゼ II インヒビター、
- iv. 微小管活性化剤、アルキル化剤、抗悪性腫瘍性代謝拮抗薬またはプラチナ化合物、
- v. タンパク質もしくは脂質キナーゼ活性またはタンパク質もしくは脂質ホスファターゼ活性を標的化/減少化する化合物、さらなる抗血管新生性化合物あるいは細胞分化プロセスを誘導する化合物、
- vi. ブラジキニン 1 レセプターまたはアンギオテンシン II アンタゴニスト、
- vii. シクロオキシゲナーゼインヒビター、ピスホスホネート、ヒストンデアセチラーゼインヒビター、ヘパラーゼインヒビター、生物学的応答修飾因子、ユビキチン化インヒビター、抗アポトーシス経路をブロックするインヒビター、
- viii. Ras 発癌性アイソフォームのインヒビター、
- ix. テロメラーゼインヒビター、および
- x. プロテアーゼインヒビター、マトリックスメタロプロテイナーゼインヒビター、メチオニン アミノペプチダーゼインヒビター、またはプロテオソームインヒビターから選択される、請求項 4 に記載の組合せ医薬。

【請求項 6】

a) ラパマイシンまたはラパマイシン誘導体、および b) 請求項 5 に記載したパラグラフ (i.) および (v.) ~ (x.) で列挙したものから選択される化学療法剤であるコエージェント、を含んでなる、組合せ医薬。